

地域に出て学ぶ活動 (“学び”創生プロジェクト事業)

1 実施目的

- ・地域住民と触れ合う中で、社会には多様な生き方や実践があることを理解し、仕事に対する情熱や責任、厳しさや楽しさなどを学ぶ。
- ・様々な活動を通して、実社会に関心を持ち、自分の将来のありかた、生き方について考える機会にする。
- ・活動を通じ、社会人とのコミュニケーション能力を身に付ける。
- ・地域の人たちに、南校を理解していただく。

2 実施内容

本校生徒についてのアンケート調査

各施設でのボランティア活動(9月29日に実施)

活動場所	場所	人数	指導教員
福祉施設・病院	9	37	3
保育園	10	54	2
児童館	7	43	2

清掃活動

古戦場	活動日	9/29(水)	10/30(土)	11/3(水)	11/6(土)	11/17(水)	11/20(土)	11/23(火)	11/27(土)	12/4(土)
	人数	60	15	8	18	34	43	21	20	14
南長野運動公園	活動日	9/29(水)	10/30(土)	11/6(土)	11/17(水)	11/20(土)	11/23(火)	11/27(土)	12/4(土)	
	人数	22	12	10	9	5	3	20	18	
今井駅周辺	活動日	9/29(水)	10/30(土)	11/3(水)	11/6(土)	11/17(水)	11/20(土)	12/4(土)	12/11(土)	12/19(土)
	人数	24	9	3	3	5	9	19	11	5

3 学年総括

・準備段階の様子からかなり心配であったが、当日の生徒の活動は全体として予想以上のものであった。各施設からは、生徒にはよくやってもらったという評価をいただいた。また施設からの報告書や生徒の感想文から、緊張した面持ちで、熱心に取り組む生徒の姿がうかがえた。実際、我々職員が巡回してみたが、普段学校の中では見られないような姿を見ることが出来た。

・今回の活動では、地域の人と交流する中で、またその人達の仕事振りを見る中で、生徒達が何かを感じ、考え方に影響を受けることを主眼にした。その点、生徒により深淺はあるものの、一人一人さまざまな影響を受けたと言える。たとえば、感想文のBの生徒は、今回の活動と自分が目指す職種には違いがあるけれども、プロの責任感や厳しさを感じ取っている。また、他の生徒は、言葉にすることは出来ないが活動前の自分と活動後の自分が違うことを意識している。

・清掃活動は、百人近くの大所帯になり、休日の活動が多かったが、よく出てきて掃除をやってくれた。計画当初は地域の人たちと一緒に公園や道路沿いを清掃する予定であったが、地域にまだ受け入れる体制がなく、またそれを作り上げる時間がなかったため、急きょ古戦場、南長野運動公園、今井駅の清掃に切り替わった。地域に少しでも貢献できたことはプラスであったが、地域の人との交流、生徒の達成感という点では残念ではあった。

4 生徒の感想

B: 私が訪問したのは児童センターです。このセンターはまだ新しく、本を読むことが出来るスペースや小さい体育館などの設備が整っていてすばらしかったです。私たちは糸電話を作りました。喜んでくれるかどうか不安でしたが、みなとても楽しそうに作っていたので良かったです。紙芝居は「赤ずきん」を読みました。施設の方は手作りと言うことでとても喜んでくださり、児童の皆さんも笑いながら紙芝居を見てくれました。私はこの児童センターで働く人たちの様子を見ていて感じたことがあります。それは言葉使いです。館長さんは私たちのことを紹介する祭、児童の皆さんにいていねいな言葉を使っていました。それだけではなく聞き取りやすいように大きな声でゆっくりと話をしている、少し騒がしくなってしまうときでも児童の注目を自分の方へ集めて静かにさせていました。それを見て私にはこんなすばらしい話術はそう簡単に使えないと思いました。この児童センターには百人ほどの子供がいます。毎日楽しく過ごせているのはやはり、児童センターの方々の子供たちのことを考えて働いているからだと思います。私はこの地域学習を通して色々なことを体験しました。働く人の姿や考えを聞かせてもらい、このような仕事もやりがいがいいがあると思います。進路を考えていく中で、この地域学習で体験したことも同時に考えていきたいです。

D: 私はこれまで、老人ホームをたずねたりした経験がなかったので、お年寄りの人達とどのようにして接すればいいのか不安でした。老人ホームへ行って、まず最初に行った活動は心配だった会話です。緊張がなかなか取れず、私は何を話せばいいのか分からずに黙って見てるしかありませんでした。そのうちに施設の人達や、多くの老人が来ました。体に触れたり、大きな声でやさしく話しかけていた姿が私にとってとても印象に残っています。うろたえている自分と違って、とても親身に話している施設の人達はすごいと思いました。どうやったら会話が弾んでお年よりの人達を喜ばせて上げられるのだろうと、一日の活動を行いながら思っていました。自分としては同じ会話ばかりだったのかもしれませんが、でも施設の方がおっしゃっていたのは、「あなたたちの世代は孫みたいなものだから、いるだけでもいいのです。話がかみ合わないかもしれないけれど、それは仕方ないことだから、気にせずに一緒に話してあげてください。」ということでした。コミュニケーションをとるのはなかなか難しいことでしたが、それでも塗り絵やカルタ取りなどでたくさん触れ合えることが出来ました。笑い合えることはとても楽しいことでした。ひっきりなしに体を動かし、広い施設を清掃するだけでも重労働だと思います。たった少しの部屋と廊下に掃除機をかけただけでもへとへとになってしまいました。この一日でとても勉強になりました。

H: 私は児童館に行ってきました。最初は子供たちと仲良くなれるか不安でいっぱいでした。子供たちが帰ってくるまで、館内の掃除をしました。みんなが怪我をしないように、雑巾の水をよく絞って、一生懸命掃除をしました。掃除が終わった後、児童館の人に説明をしてもらったり、自己紹介をしました。いっぱいお話をしたので少し緊張がほぐれました。子供たちが帰ってくる時まで、その日は雨が降っていたので濡れたランドセルを拭いてあげました。「お帰り。」と言うと「ただいま。」と言ってくれたり、ランドセルを拭いてあげると「ありがとう。」と言ってくれました。そういった挨拶がすごく嬉しく思いました。私はすぐに子供たちとはしゃぎたかったけれど、実際そんなに簡単なことではなく、みんな人見知りをしているみたいでした。でも自ら積極的に話し掛けに行こうと思って子供たちと同じくらいの背になるように、しゃがんで話し掛けました。すると、みんな嬉しそうに笑顔で応えてくれました。それから、子供たちから話し掛けてきてくれたり、手をつないできてくれました。少し遊んでから、おやつの時間になりました。みんな準備の手伝いをして、食べる時は子供たちと一緒に楽しく食べました。そのあと紙芝居を読んであげたり、なぞなぞで遊んだりしました。紙芝居は、みんな静かに聞いてくれて、喜んでくれたので、作った甲斐がありました。帰る時間になると、みんな「また明日来てね。」と何回も言ってくれたので、すごく嬉しくて絶対また来たいと思いました。いい経験になりました。

J: 私は地域学習で病院へ行き、看護助手の仕事を体験しました。私の担当の方と一緒に4階の形成外科の仕事をしました。まず始めに病室の奥の方にあるシーツや枕、布団、などの寝具が置いてある部屋に在庫を確かめに行き足りない分を洗った寝具がたくさん置いてある部屋へ行って補給しました。私はシーツなどを3つぐらい持って運んだけど意外とずしりして重かったです。次はポータブルトイレの掃除です。関さんが洗い、私が拭きました。拭いたら何号室に持っていかを教えてください、その部屋に持っていききました。ある部屋には二人のおばあさんがいて、「有難う。」と言ってとても嬉しかったです。またそのおばあさんたちが、「あなたの笑顔は綺麗な笑顔だね。私はそういう人が好きですよ。」と言ってくれました。私は照れてしまったけど、嬉しかったです。

5 訪問先からの感想

[福祉施設]

実社会の経験もまだ乏しいのと世代の差もあってお年寄りとの交流については少し時間をかけないと無理があるかと思いました。午前中は居室の掃除等の作業を行っていただきましたが、さすがに女の子は役に立つと感じました。作業的なことは問題なくふれあいのことになると職員の援助も必要かと思われるので、時間をかけてお年寄りと親しんでいただくことから始めていただくのが良いかと思います。ただし、歌を歌っていただいたり、寸劇などを披露していただく事はお年寄りもとても喜ぶますので、積極的に参加することを希望します。

・学習の一環として一日と限定されると受け入れる側もセッティングが必要となりますので、活動が継続して行えることが望ましい。

・楽器の演奏を聞きたくて、40分も待ち続けた方がいます。以後継続の活動を望みます。

・どの様に反応していただけるのか、予想外なことが多かったようです。

・豊かな感性を様々な体験の中で活かして下さい。

・参加目的をしっかりと認識して来設して下さい。グループ参加の場合、特にその必要性を感じます。

・高校生の皆さんが施設にいるだけで、活気が感じられます。また高齢者の方も大変楽しみに待っていたと報告されています。機会を見つけて是非施設へ足をお運びください。

・ボランティア活動がありましたら、施設とのパイプを作りたいと思います。

[ケアセンター]

・最初はぎこちなく、お年寄りとどう接していいのかと惑っている様子でしたが、少しずつ慣れ、お年寄りにリードされながらお話しできるようになり、お年寄りも生徒さんも楽しそうでした。ちょうどお誕生日会の日に来て歌を歌っていただきましたので、お誕生者も涙を流して喜ばれていました。

・今後も時々来ていただき、お年寄りの話し相手になっていただけたらと思います。お年寄りは特別に華やかなことは望んでいません。来てくださる人が自分のできることを少しお年寄りの前で心を込めてやっていただければ、それが何よりも喜んでくださいます。喜ばせたいという心が一番大切なことだと思います。

[ディサービスセンター]

・今回高校生の体験学習の受け入れということで、どのような取り組みをされるか見させていただきました。生徒一人一人の取り組みはとても熱心でありました。お年寄りとの対応もとてもやさしく学生らしい行動がとても新鮮で、ご利用者も孫みたいで嬉しいととても好評でした。こちらの指示通り行動し、また利用者ともしっかり会話をされていて、とても楽しい一日をおくれたと感じております。

・私どもの業務は、できれば1回で完結というのではなく、例えば2～3回位といった複数回計画していただければ、生徒さんの取り組みが更に見えたり、また顔見知りになることで会話が多くもてるなど考えられるので、こうした機会を更に多くするということもご検討いただけたらと感じます。

・今回は交渉の段階から生徒さんが行ってこられました。事前の打ち合わせがかなり日が迫ってからのためもう少し事前に話ができて良かったのかなと少し感じました。

[保育園]

・子供の前での自己紹介は緊張している様子がありましたが、遊びのときは、とても積極的に子供と関わっていました。絵本を読んでいただきました。子供たちは、しっかりと聞いていました。特に鬼ごっこをしてくれたとき子供たちの中で鬼が決まらないと、決め方を工夫していたので良かったと思います。遊んでいるときの表情はとても笑顔で子供たちもとても喜んでいました。

・今後も受け入れの協力をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。